



中世日本語の研究および書物（古典籍）の伝存 状況から見た地域文化の研究

人間文化学部国際文化学科

教授 菅原 範夫（すがはら・のりお）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1913号室
Tel 082-251-5178(代)
E-mail sugahara@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 中世日本語研究 地域文化研究

キーワード： 日本語 キリシタン資料 毛利家文書
中山間地域 地域文化 古典籍

●研究内容

- 1 中世日本語の研究を専門としています。
 - 鎌倉時代・室町時代のことばの歴史的研究
 - キリシタン資料や毛利家文書、吉川家文書などをを用いた、中央と地方のことばの関わりについての研究

主な著書や論文に以下のものがあります。

- ・『栄花物語本文と索引』（本文編、自立語索引編、付属語索引編とも共著、昭和 60～62、武蔵野書院刊）
- ・『キリシタン資料を視点とする中世国語の研究』（単著、平成 12、武蔵野書院刊）
- ・「中世文書に見る地域言語—『毛利家文書』元就・隆元・輝元文書を中心として—」（『国語国文』68-5、平成 11 年）

- 2 近年は、広島県内に伝存する古典籍類の調査を通じて、広島県の文化的伝統を再評価するための研究を、共同で行っています。

調査・研究の成果は以下の通り、公表しています。

- ・「広島県内伝存古典籍（和漢書）目録一」（共著、平成 13）
- ・「広島県内伝存古典籍（和漢書）目録二」（共著、平成 14）
- ・「広島県内伝存古典籍（和漢書）目録三 平賀家蔵書目録」（共著、平成 15）

- ・「広島県内伝存古典籍（和漢書）目録四 保田家蔵書目録」（共著、平成 16）
- ・「近世芸南地域の歴史と文化」（共著、平成 17）

●期待される成果と応用

- ① 地域に伝わる書物を利用した地域文化理解、地域の人々の生活を知るための資料発掘を通じた地域活性化に向けて、官学連携による調査・研究が可能です。
- ② 市町村合併後の資料保存、活用の方法など、地域振興を視野に入れた文化施策の策定などに、調査・研究結果の利用が可能です。

●想定される連携先

- ① 地方自治体・生涯学習施設
- ② 図書館、資料館等資料保存機関
- ③ 公民館